

国税

所得税
1年間の所得に課せられる税。
確定申告により税額が確定する場合と、給与の年末調整で済ませられる場合がある。

相続税・贈与税
相続などにより取得した財産（現金、預貯金、有価証券、宝石、不動産のほか貸付金、特許権、著作権など金銭に見積もることができる経済的価値のあるすべてのもの）に課税される。贈与税は財産をもらったときにかかる。生命保険金の受け取り方によって、相続税または贈与税の対象となることがある。

印紙税
契約書・手形・領収書などの文書に対して課税されるもの。記載された金額によって税額が決まる。

消費税
商品を買ったりサービスを受けたりしたときなどにかかる税で、消費者が負担する。税率5%のうち、4%が国、1%が県へ。

県税

自動車税
毎年、4月1日現在の普通自動車の所有者に課税される。自動車の運行により道路を損傷させるため、その維持費を負担するという目的税。

事業税
県内に事務所・事業所を設けて事業を行う個人や法人、収益事業を行う社団・財団へ課税される。

不動産取得税
土地や家屋などの不動産を、売買、交換、贈与、建築などにより取得した人に課税される。

住民税（市・県民税）
前年1年間の所得に課せられる税。県民税と市民税の2つを、市が一括して課している。納められた税の約60%が市、約40%が県へ。

市町村税

固定資産税
土地・家屋・償却資産等を所有している人に、その固定資産の価格に応じて課税される。納税義務者は、1月1日現在の所有者。

国民健康保険税
国民皆保険を支える健康保険の保険料。国保加入者が病気やけがをしたとき、医療費や介護サービスの費用に充てられる財源。所得と加入者数によって税額が決定される。

軽自動車税
毎年、4月1日現在の軽自動車（バイク、軽自動車、小型特殊自動車など）を所有している人に課税される。



税にはどんな種類が？
税は、所得や資産（土地・建物・自動車など）、嗜好品などに課されるもので、暮らしの中で、さまざまな形で納められています。国税、県税、市町村税に分けられます。左の図でどんな税があるか、見てみましょう。

税

を考えよう

私たちは、なぜ税金を負担するのでしょうか。
「納税の義務」は、日本国憲法で「普通教育を受けさせる義務」「勤労の義務」とともに、「国民の三大義務」といわれています。
国や地方公共団体は、市民の生活を安定させ、社会を発展させるために、社会保障、社会基盤の整備、教育、消防、警察、防衛など、さまざまな仕事をしています。これらの仕事をするためには、費用がかかります。みんながこの費用を負担し合うのが「税」です。税を納めることは義務であるとともに、私たちの生活をより豊かにし、平和に暮らすためのものです。
みんなが国民、市民として、税のあり方について深く考えることが大切です。

税が支える

公的サービス



僕が学校で勉強できるのも、みんなが納める「税」のおかげ！
大人になったら、お返ししなきゃね。

「税」がなかったら、生活の中で、不便なことがたくさんあるのね。
犯罪の取り締まりや消防・救急が有料になったら大変だね！

滞納処分

納税は、社会のルールです。スポーツにもルールがあるように、それを破ると罰則が与えられます。納税も同じように、決められたルールを守れないと滞納処分という罰則が与えられます。
例えば、預貯金、給料、自動車、動産（家電製品、貴金属、骨董品等）、不動産などが差押えられます。

納税が困難なとき、まずはご相談ください。

減免制度

災害や離職、所得の大幅な減少などの理由により、市税の減免を受けることができます。
税務課までご相談ください。

口座振替をお勧めします

各市税の納期限日に、指定の口座から振替できます。納め忘れもなく、窓口に行く手間もありません。
各金融機関の窓口でお申し込みください。
（納税通知書、通帳、通帳印が必要です）

市税滞納差押物件をネットで公売しています
YAHOO! オークション



納税が困難な場合は、相談を承りますので、税務課までご連絡ください。

- 相談・問合せ先
・国税について：
本庄税務署 ☎ 22・2335
・県税について：
由利地域振興局県税課 ☎ 23・4105
・市税について：
税務課 ☎ 43・7505